

進捗報告書（資金分配団体）

事業名:	経済的困窮層の食と生活支援のアクセス確保
資金分配団体:	特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
実行団体数:	3団体
実施時期:	2020年1月～2021年3月
事業対象地域:	東北、九州沖縄地域
事業対象者:	上記対象地域でコロナ禍により生活困窮となったも

Version 1.0

日付: 2021年11月12日

I. 事業概要

事業概要
豪雨等の被災からの復旧状況や完全失業率の高さなどから、東北、九州、沖縄に地域を絞り、コロナ禍において困窮状態に陥っても、最低限の支援が受けられる体制づくりを目指す。具体的には、困窮者が最低限の支援として『食』と『生活相談（職と住）』につながるために、事業公募の結果、東北ブロックでは、岩手県における食料支援と東北他5県の食料支援、宮城県における生活相談、九州・沖縄ブロックでは、沖縄県県内における食料支援とその体制構築を行う。食料支援については、各当該地域において、経済禍により食料確保が難しい世帯への食料の支援と、長期的支援が見込まれる当該分野の支援体制の強化を行う。 生活相談では、主に居所を喪失した人への相談対応と公的機関のもつシェルターでは対応しきれない方々の受入れ、また職を失った方への職業訓練を行う。

II. 進捗報告の概要

総括
現段階では、当初の目的通り、多くの困窮されている方に支援が届けられている状況にあるとらえている。 感染症の蔓延状況により、事業進捗が遅れている部分の一部があるが、食料支援については、半面、ニーズの高まりが確認され、対面接触を避けつつ、裨益者に罹患の不安を与えない方法により、予定よりも多くのニーズに対応している、 一方、居所や仕事については、相談数は増えている物の、物件の契約や人材確保に苦慮している。

III. 活動実績

資金支援

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
①事業終了後も、課題に対して支援を継続する。 ②事業終了後も、感染症対策に留意した、安全安心な支援体制を継続する。	①実行団体のいずれも、事業終了後の事業継続の方向性は決まっている。一方、高まる食料や相談のニーズに対して、それを支える資金や支援者の目途が、より多くのニーズに対応する水準までは確保できていない。 ②本資金により、感染症対策の物理的な面の整備や事業を通じた罹患防止策は徹底され、継続が可能な準備ができています。

実行団体名	進捗状況	概要
ワンファミリー仙台	遅延あり	相談事業については感染症対策、ニーズ対応など順調であるが、当初予定していた住宅の確保、並びに専門人材の確保については、遅れが出ている。住宅の確保については、当初目標の達成は難しいと考えるため、予算の変更を検討している。人材確保についても見直しを検討している。
セカンドハーベストジャパン	ほぼ計画通り	出口を見据えた地元企業との連携は対面接触などが難しいため遅れているが、一方で、高まる支援ニーズや予定していなかった地域からの支援の要請など、地域内での活動認知の高まりとともに、予算変更を行いながら、食料支援に重点をおいて事業を進める予定。
フードバンク岩手	ほぼ計画通り	想定を超える食料支援ニーズとなっているため、出口を見据えた食料確保や、他地域への支援方法などに残された事業期間は重点を置く事になる見込み。

非資金的支援（資金分配団体の伴走支援活動）

活動	進捗状況	概要
事業運営支援	計画通り	それぞれの実行団体が経験豊富なため、実務面での運営支援を行う事は今のところないが、予算執行状況や出口戦略部分において、それぞれの事業進捗に合わせた協議が順調に行っている。
企業等とのコーディネート	ほぼ計画通り	当初見込んでいた企業のコーディネートについては、企業側もこの感染症下での対応に追われており、積極的なマッチング活動を行っていない。一部、コロナ禍での支援を考えていたプロスポーツチームの連合体と岩手、沖縄に対してのマッチングに着手ができた。

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述
いずれの団体も、今後も引き続きコロナ禍での困窮される方々への支援方針については変更はないと考え、支援は実施されると考えているが、事業開始から半期の時点で、いずれの団体においても支援ニーズが当初予定よりも高まっている点から、次年度に向けた予算や支援物資の確保が大きな課題となり、また次年度以降も引き続き支援ニーズが拡大するのではないかと感じている。

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	実行団体への助成に充当される費用	¥42,000,000	¥58,000,000	¥100,000,000	¥45,503,700	46%
	管理的経費	¥3,033,984	¥13,596,942	¥16,630,926	¥0	0%
プログラム・オフィサー関連経費		¥1,631,000	¥0	¥1,631,000	¥0	0%
合計		¥46,664,984	¥71,596,942	¥118,261,926	¥45,503,700	38%
補足説明						

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
事業の進捗とともに、実行団体に対してより支援を求める傾向がみられる。このことはコロナの為進まない事業を縮小し、より多くのリソースをそのニーズに当てることにより対応していくほかないと考える。 また、対応ができない課題として、困窮層への支援に対する否定的又は協力を得られない状況もあり、短期の事業では解決が難しいと考えている。

VII. その他

自由記述

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	
広報制作物等	無	
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	
3. 利益相反防止のための自己申告を定期的に行っていますか。	はい	
4. 関連する規程の定めどおり情報公開を行っていますか。	はい	
5. コンプライアンス委員会は定期的を開催されていますか。	いいえ	本来は定期開催するものである認識があるが、設置間もないため、運用ができていない。